

大会名 Competition	ウインターカップ2019秋田県予選会 女子決勝
No. A-1	Year Month Day Time 2019 年 10 月 27 日 9 : 00
場所 Place	能代市総合体育館



秋田県高等学校体育連盟  
バスケットボール専門部

チームA <b>湯沢翔北</b> 132 ○	<table border="1"> <tr><td>28</td><td>1st</td><td>4</td></tr> <tr><td>38</td><td>2nd</td><td>15</td></tr> <tr><td>35</td><td>3rd</td><td>11</td></tr> <tr><td>31</td><td>4th</td><td>11</td></tr> <tr><td>OT</td><td></td><td></td></tr> </table>	28	1st	4	38	2nd	15	35	3rd	11	31	4th	11	OT			チームB <b>横手城南</b> 41 ●
28	1st	4															
38	2nd	15															
35	3rd	11															
31	4th	11															
OT																	

Crew Chief  
水木 順仁  
Umpire 1  
田村 高光  
Umpire 2  
山田 知慧

テーブル・オフィシャル: Table officials  
能代松陽高校女子バスケットボール部

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F
4	×	齊藤可怜	CAP	3	0	1	1	0	4	/	齋藤亜海	CAP	2	0	1	0	2
5	×	近藤萌		13	1	5	0	1	5	×	下田光莉		0	0	0	0	0
6	×	小野寺紅美		6	0	3	0	1	6	×	藤原茉央		0	0	0	0	1
7	×	浅利千		15	1	6	0	1	7	/	鈴木真歩		5	1	1	0	3
8	×	長谷川美加		4	0	2	0	3	8	×	松澤知夏		0	0	0	0	2
9	/	清川璃子		11	1	4	0	0	9	/	渋谷光		4	0	2	0	3
10	/	佐渡ほのか		9	0	4	1	1	10	/	日野和		0	0	0	0	1
11	/	奥山理梨佳		7	0	3	1	0	11	/	沼倉陽菜		9	0	4	1	2
12	/	藤原菜花		9	1	3	0	0	12	×	佐々木のの		0	0	0	0	0
13	/	高橋優南		12	2	2	2	0	13	/	高橋七海		0	0	0	0	0
14	/	加藤望希		5	1	1	0	1	14	/	高橋芽生		8	0	4	0	1
15	/	石川真子		4	0	2	0	0	15	/	近結花		0	0	0	0	0
16	/	新林未悠		13	0	5	3	3	16	×	齋藤梨萌		2	0	1	0	0
17	/	畑中悠奈		9	0	4	1	0	17		高橋結		-	-	-	-	-
18	/	佐々木心晴		5	1	1	0	0	18		高橋陽		-	-	-	-	-
19	/	奥山せり		5	0	2	1	0	19	/	石山咲杏		11	3	1	0	0
20	/	菅萌惟		0	0	0	0	1				-	-	-	-	-	
21	/	横山麻衣		2	0	1	0	0				-	-	-	-	-	
コーチ		樋渡真裕							コーチ		伊藤和泉						
Aコーチ		熊谷傳裕															
合計				132	8	49	10	12	合計				41	4	14	1	15

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3P\* インドシュート 2P:2P\* インドシュート FT:フリースロー F:ファウル

女子決勝の対戦カードは湯沢翔北対横手城南、ともに県南勢で互いに手の内を知り尽くしたチーム同士の対戦となった。

第1Q開始直後から湯沢翔北が攻守において横手城南を圧倒し、#5近藤を中心に内外角バランスよく得点を重ねる。横手城南は小刻みにメンバーチェンジをしながらフルコートでのディフェンスで活路を見出そうとするが、湯沢翔北は固いディフェンスから相手のタフショットを次々と速攻につなげ、28-4と横手城南に付け入る隙を与えずに第1Qを終えた。

第2Qに入っても湯沢翔北は攻撃の手を緩めず、#7浅利がミスマッチを突いてインサイドで連続得点、さらに#9清川、#13高橋が立て続けに3Pを沈める。横手城南は#14高橋(芽)が果敢なアタックを見せて得点するが後が続かず、流れを変えることができない。湯沢翔北は#13高橋、#11奥山が相手のドリブルを次々とスティールして加点、66-19と大量リードを奪って前半を終えた。

第3Qからは両チームともベンチメンバーを起用。湯沢翔北は2-2-1のゾーンプレスで相手のターンオーバーを誘発し、ハイペースで得点を重ねる。横手城南は#19石山、#7鈴木が3Pを決めるものの攻撃は単発に終わり、101-30と湯沢翔北がさらにリードを広げる。

第4Qに入っても湯沢翔北の勢いは止まらず、#16新林、#17畑中を中心に速攻から次々と得点を重ね、132-41の大差で試合終了。盤石の強さを見せつけた湯沢翔北が11年連続19回目のウインターカップ出場を決めた。